

製品名: MIP-3 α ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13910**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CCL20 C-C motif chemokine 20 (Beta-chemokine exodus-1; CC chemokine LARC; Liver and
別名	activation-regulated chemokine; Macrophage inflammatory protein 3 alpha; MIP-3-alpha; Small-inducible cytokine A20) [Cleaved into: CCL20(1-67); CCL20(1-64); CCL20(2-70)]
遺伝子 ID	6364.0
SwissProt ID	P78556
免疫原	AA 範囲: 31-80 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

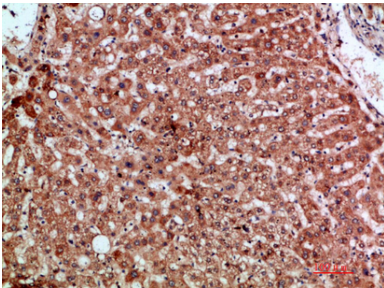
背景

この抗菌遺伝子は、低分子サイトカイン CC 遺伝子のサブファミリーに属します。サイトカインは、免疫調節および炎症プロセスに関与する分泌タンパク質のファミリーです。CC サイトカインは、隣接する 2 つのシステインを特徴とするタンパク質です。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、リンパ球に対して走化性活性を示し、骨髄系前駆細胞の増殖を抑制できます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2014 年 9 月]、機能: リンパ球と、わずかに好中球を誘引するが、単球は誘引しない走化性因子。コロニー形成アッセイにおいて骨髄系前駆細胞の増殖を阻害します。リンパ球と樹状細胞を上皮細胞に誘引することにより、粘膜リンパ組織の形成と機能に関与している可能性があります。C 末端が処理された形態は、白血球に対して同様に走化性活性があることが示されています。抗菌活性を有する。大腸菌 ATCC 25922 および黄色ブドウ球菌 ATCC 29213。誘導: リポ多糖 (LPS)、腫瘍壊死因子、およびインターフェロンガンマによって誘導される。U937 細胞株およびボーズ黒色腫において、ホルポールミリスチンアセテート (PMA) によって誘導される。IL-10 によって抑制される。オンライン情報: CCL20 エントリー、PTM: 末梢血単球から分泌された後、タンパク質分解によって 1、3、または 6 個のアミノ酸が欠失した C 末端処理型が生成される。類似性: インタークリン β (ケモカイン CC) ファミリーに属する。サブユニット: CCR6 に結合して活性化する。組織特異性: 主に肝臓、リンパ節、虫垂、末梢血リンパ球、および胎児肺で発現する。胸腺、前立腺、精巣、小腸、結腸で低レベルが見られます。

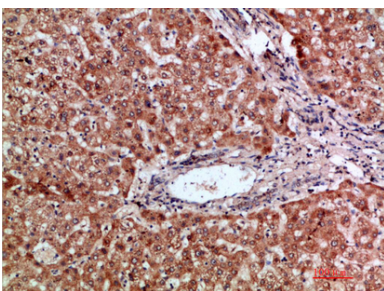
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;ケモカイン;

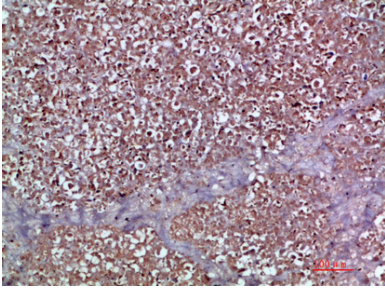
画像データ



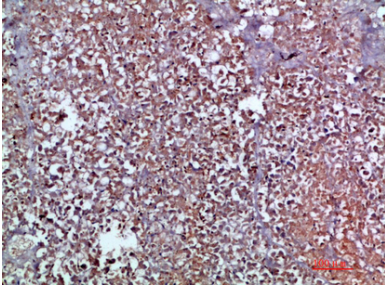
パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された